

環境経営レポート

2021年度

対象期間 2021年1月～12月



発行日 2022年3月31日

株式会社水野文化園

目次

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 環境経営方針 | P1 |
| 2. 組織の概要と認証・登録の対象範囲 | P2 |
| 3. 実施体制 | P3 |
| 4. 環境経営目標 | P4 |
| 5. 環境経営計画 | P5 |
| 6. 環境経営目標の実績 | P6 |
| 7. 環境経営活動の取組結果と評価及び次年度の環境経営計画（取組） | P7 |
| 8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無 | P8 |
| 9. 社内外における環境活動への取組 | P8 |
| 10. 環境に配慮したプロジェクトの竣工 | P9 |
| 11. 環境に配慮した事務所設備・工事車両の更新 | P9 |
| 12. 代表者による全体評価と今後に向けた取組 | P10 |

1.環境経営方針

■基本理念

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、事業活動に伴う環境負荷を継続的に改善していくとともに、生態系との共生に資する緑豊かな空間の創造に積極的に取り組んでいきます。

■行動指針

1. 具体的には、以下のことに取り組んでいきます。

- ①二酸化炭素排出量の削減
- ②廃棄物排出量の抑制とリサイクルの推進
- ③水使用量の削減
- ④農薬などの化学物質使用量の把握
- ⑤環境に配慮した設計施工技術の推進
- ⑥生物多様性への配慮

2. 環境関連法規や当社がお約束したことを遵守します。

制定日 平成27年12月 1日

改定日 令和 2年 6月 1日

株式会社水野文化園
代表取締役 水野 貞明

2.組織の概要と認証・登録の対象範囲

1 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社水野文化園
代表取締役 水野 貞明

2) 所在地

〒800 - 0112 福岡県北九州市門司区大字畑46番地

3) 環境管理責任者及び連絡先

専務取締役 水野 晴之
TEL 093 - 481 - 4600 FAX 093 - 481 - 4680

4) 事業内容

福岡県知事許可 特 - 27 第66562号
造園工事業、土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、
石工事業、屋根工事業、鋼構造物工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、
鉄筋工事業、ほ装工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、
内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業

5) 事業規模

資本金 30,000,000円
売上高 1.5億円(2021年度)
従業員数 12人

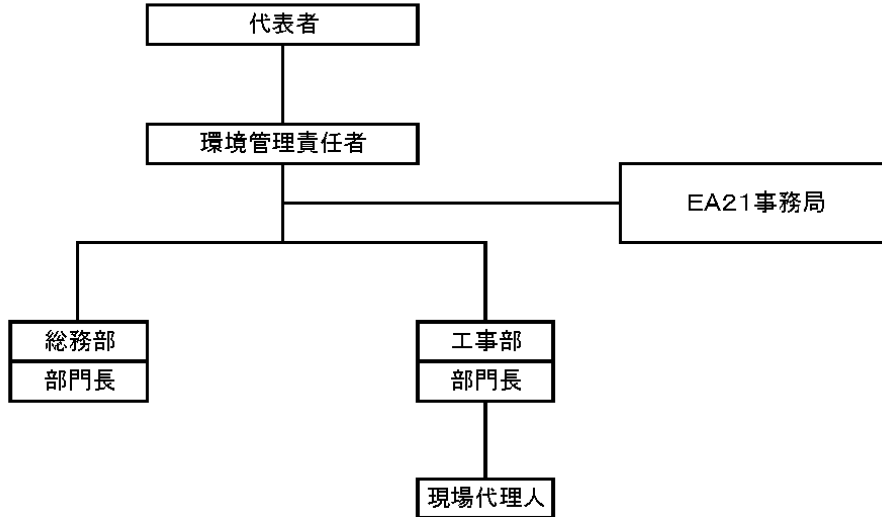
6) 事業年度 1月～12月

2 認証・登録の対象範囲

1) 対象事業所 本社

2) 事業活動 造園工事業、土木工事業

3.実施体制



役割分担表

| 所属 | 役割・責任・権限 |
|--------------|---|
| 代表者(社長) | <ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 環境方針を作成・見直しして従業員に周知する。 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する。 環境への取組の実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備する。 環境目標・環境活動計画書を承認する。 EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しを実施する。 環境活動レポートを承認する。 コロナ感染対策と環境活動との調整についての最終判断を行う。 |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインに沿って環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認する。 毎年、環境目標・環境活動計画を作成する。 3ヶ月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価する。 コロナ感染対策と環境活動との調整を行う。 上記の結果を代表者に報告する。 EA21と関連させつつSDGsへの取組も推進する。 |
| EA21事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐して、EA21文書・記録類・データの作成・集計・管理を行う。 社外からの環境情報の収集と伝達を行う。 環境活動レポートの作成、公開を行う。 |
| 部門長 現場代理人 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針・環境目標・環境活動計画を部門全員に周知する。 環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する。 自部門で発生した問題点の是正措置・予防措置を実施する。 自部門に関連する法規制等を順守する。 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 自部門の教育・訓練を実施する。 協力会社従業員に対し弊社環境方針を説明し、理解・協力を求める。 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。 PDCAサイクルを実践しながら、自主的・積極的に環境活動へ参加する。 |

4.環境経営目標

■削減目標は、2015年度を基準年として毎年0.5%削減を目指している。

| 環境経営目標 | サイト区分 | 単位 | 基準年 | 目標 | | |
|--------------------|-------|--------|--------|--------------------|------------------|--------------------|
| | | | 2015年度 | 2020年度 (2.5%削減) | 2021年度 (3%削減) | 2022年度 (3.5%削減) |
| | | | 1月~12月 | 1月~12月 | 1月~12月 | 1月~12月 |
| 1 二酸化炭素総排出量の削減 | 全社 | kg-CO2 | 42747 | 41678 | 41465 | 41251 |
| ①電気使用量の削減 | 事務所 | kWh | 23645 | 23054 | 22936 | 22817 |
| ②ガソリン使用量の削減 | 事務所 | L | 2126 | 2073 | 2062 | 2052 |
| ③ガソリン使用量の削減 | 現場 | L | 4778 | 4659 | 4635 | 4611 |
| ④軽油使用量の削減 | 現場 | L | 6933 | 6760 | 6725 | 6691 |
| 2 ①一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | t | 0.74 | 0.72 | 0.72 | 0.71 |
| ②産業廃棄物の再資源化率の向上 | 現場 | % | 84.5 | 85.0 | 85.0 | 85.0 |
| 3 水使用の削減 | 全社 | m3 | 194 | 189 | 188 | 187 |
| 4 化学物質使用量の把握と適正管理 | 現場 | — | 適正管理 | 適正管理 | 適正管理 | 適正管理 |
| 5 グリーン購入の推進 | 事務所 | 品数 | 33/130 | 購入品数の33%以上 | 購入品数の34%以上 | 購入品数の35%以上 |
| 6 省資源・省エネ型設計・施工の提案 | 現場 | 件数 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| 7 生物多様性への配慮の推進 | 現場 | 件数 | - | 適正配慮 | 適正配慮 | 適正配慮 |

※購入電力のCO2排出係数について、2018年度実排出係数0.347[kg-CO2/kWh]を採用。

※環境目標7は、2017年度より新しく追加した。

5.環境経営計画

| 環境経営目標 | | サイト区分 | 達成手段 | | 担当 |
|--------------------|-----------------|-------|-----------------------|------------------------|----|
| 1 二酸化炭素総排出量の削減 | ①電気使用量の削減 | 事務所 | 1 | 使用していない部屋の消灯・空調停止。 | 花田 |
| | | | 2 | 空調の設定温度の適宜調節。 | |
| | ②ガソリン使用量の削減 | 事務所 | 1 | 目的地までの効率的な走行ルートを選定。 | 花田 |
| | | | 2 | 公共交通機関の利用促進。※1 | |
| | ③ガソリン使用量の削減 | 現場 | 1 | 現場移動時の最短移動ルートを選定。 | 岡本 |
| | | | 2 | 各作業ごとの工事車両台数の最適化。※2 | |
| | ④軽油使用量の削減 | 現場 | 1 | アイドリングストップの励行。 | 岡本 |
| | | | 2 | 急発進・急停止・急旋回・過負荷の禁止。 | |
| 2 | ①一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | 1 | 必要部数に限定した印刷物の作成。 | 花田 |
| | | | 2 | 社内LAN、データベース等を利用した電子化。 | |
| | ②産業廃棄物の再資源化率の向上 | 現場 | 1 | 混合廃棄物の現場における分別処理の徹底。 | 岡本 |
| | | | 2 | 資材梱包の簡素化による発生材削減。 | |
| 3 水使用料の削減 | 事務所 | 1 | 手洗い・洗い物の際の節水の励行。※3 | 花田 | |
| | | 2 | 配管からの漏水の有無の定期的な点検実施。 | | |
| 4 化学物質使用量の把握と適正管理 | 現場 | 1 | SDSを用いた安全性確保のための情報管理。 | 岡本 | |
| | | 2 | 有害性化学物質の使用量・保管量の把握。 | | |
| 5 グリーン購入の推進 | 事務所 | 1 | グリーン購入法適合商品の優先的購入。 | 花田 | |
| | | 2 | 再生材料から作られた製品の優先的購入。 | | |
| 6 省資源・省エネ型設計・施工の提案 | 現場 | 1 | 再生資源の積極的な利用。 | 岡本 | |
| | | 2 | 施工の合理化による省資源化・省エネ化推進。 | | |
| 7 生物多様性への配慮の推進 | 現場 | 1 | 生物多様性に配慮した農薬の選定・使用。 | 岡本 | |
| | | 2 | 生物多様性に配慮した緑地管理の推進。 | | |

注：※1、※2、※3については、新型コロナウイルス感染予防のため2020年3月以降一時中止。

6.環境経営目標の実績

| 環境経営目標 | サイト区分 | 単位 | 2015年度 | 2021年度 | | 達成率 (%)注 |
|--------------------|-------|--------|-----------------|----------------|-----------------|-------------|
| | | | 基準年 | 目標 | 実績 | |
| 二酸化炭素総排出量の削減 | 全社 | kg-CO2 | 42747 | 41465 | 30658 | 135% |
| 1 ①電気使用量の削減 | 事務所 | kWh | 23645 | 22936 | 20114 | 114% |
| ②ガソリン使用量の削減 | 事務所 | L | 2126 | 2062 | 1298 | 159% |
| ③ガソリン使用量の削減 | 現場 | L | 4778 | 4635 | 3051 | 152% |
| ④軽油使用量の削減 | 現場 | L | 6933 | 6725 | 5267 | 128% |
| 2 ①一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | t | 0.74 | 0.72 | 0.61 | 118% |
| ②産業廃棄物の再資源化率の向上 | 現場 | % | 84.5% | 85.0% | 100% | 118% |
| 3 水使用量の削減 | 全社 | m3 | 194 | 188 | 174 | 108% |
| 4 化学物質使用量の把握と適正管理 | 現場 | — | 適正管理 | 適正管理 | 適正管理 | 達成 |
| 5 グリーン購入の推進 | 事務所 | 品数 | 33/130 (25%) | 購入品数の 34%以上 | 94/242 (39%) | 115% |
| 6 省資源・省エネ型設計・施工の推進 | 現場 | 件数 | 2 | 3 | 3 | 100% |
| 7 生物多様性への配慮の推進 | 現場 | — | — | 適正配慮 | 適正配慮 | 達成 |

注：達成率＝目標／実績（実績が小さい方がよい場合）。

ただし2②、5、6については、達成率＝実績／目標（実績が大きい方がよい場合）とする。

7.環境経営活動の取組結果と評価及び次年度の環境経営計画（取組）

※次年度の環境経営目標は、「3. 環境経営目標」のとおりとする。

| 環境経営目標 | サイト区分 | 結果 | 評価及び次年度の環境経営計画（取組） |
|--------------------|-------|----|---|
| 二酸化炭素総排出量の削減 | 全社 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは、評価できる。 次年度も、若年社員や協力会社を含めた全社的な環境活動の推進を継続していく。 |
| ①電力使用量の削減 | 事務所 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> LED天井照明導入の効果が現れてきている。 次年度も、更新時における省エネ性能の高い備品採用の検討に取組んでいく。 |
| ②ガソリン使用量の削減 | 事務所 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは評価できる。 公共交通機関利用促進はコロナ収束後に再開する。 |
| ③ガソリン使用量の削減 | 現場 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは評価できる。 次年度も環境への配慮と感染症対策の両立を意識した取組を継続していく。 |
| ④軽油使用量の削減 | 現場 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できたことは評価できる。 次年度も環境への配慮と感染症対策の両立を意識した取組を継続していく。 |
| ①一般廃棄物排出量の削減 | 事務所 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成できており評価できる。 電子化、メール利用によるペーパーレス化への意識は高まっており、今後も継続的に取組んでいく。 |
| ②産業廃棄物の再資源化率の向上 | 現場 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 再資源化率は100%に達しており評価できる。 今後も分別徹底による再資源化に取組んでいく。 |
| 3 水使用量の削減 | 全社 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 節水より感染症対策（手洗いの励行等）を優先した。 コロナ収束後から従前の節水励行を再開する。 |
| 4 化学物質使用量の把握と適正管理 | 現場 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 社員の農業に対する管理意識も高まってきている。 次年度も引き続き管理体制を維持していく。 |
| 5 グリーン購入の推進 | 事務所 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 目標を上まわって達成しており評価できる。 衛生用品等の購入品数が増えてきており、引き続き対象商品の優先調達に取組んでいく。 |
| 6 省資源・省エネ型設計・施工の推進 | 現場 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 施工の合理化への意識が浸透してきている。 次年度も発注者への技術提案につなげていく。 |
| 7 生物多様性への配慮の推進 | 現場 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> 動物や周辺の農作物に配慮した植物管理を行うなど、生物多様性に対する配慮も浸透してきている。 継続して顧客へのアピールにつなげていきたい。 |

○：結果が得られている。 △：結果が不十分。 ×：結果が得られていない。

8.環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

- 弊社に適用される環境関連法規について確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関及び市民からの違反の指摘や訴訟等もありませんでした。

| 主な環境関連法規等 | 遵守状況 |
|-----------|------|
| 廃棄物処理法 | ○ |
| 建設リサイクル法 | ○ |
| オフロード法 | ○ |
| フロン排出抑制法 | ○ |
| 騒音規制法 | ○ |
| 振動規制法 | ○ |
| 道路交通法 | ○ |
| 道路法 | ○ |

9.社内外における環境活動への取組

- 大分県由布市庄内町のスギ皆伐跡地において、NPO法人自然再生機構の主催による自然再生活動に参加しました。今後の育成管理に必要となる作業道の整備を目的として、除草・支障木撤去等の作業を行いました。



作業状況



作業道整備状況

10.環境に配慮したプロジェクトの竣工 ～くきのうみ中央公園完成～

■2021年10月、北九州市若松区にて、弊社が施工を担当した（仮称）藤ノ木公園整備工事（正式名称「くきのうみ中央公園」）が無事竣工を迎えることができました。

新興住宅地に近接しており、地域住民の皆さんの憩いの場として、快適な生活環境の維持に貢献していくことが期待されます。本公園では、一般的な遊具に加えて近年では珍しい現場打遊具が設置されており、近隣の保育園の園外活動の場としても活用されています。



公園全景



南側より



現場打遊具

11.環境に配慮した事務所設備・工事車両の更新

■本社事務所エントランス部の天井照明をLED照明に更新することにしました。これにより、さらなる電気使用量・ランニングコストの削減が期待できます。

■従来保有していたパッカー車（塵芥車）の老朽化に伴い、環境性能にすぐれた新型のパッカー車を導入することにしました。パッカー車は緑地管理業務等において不可欠な稼働率の高い工事車両であり、これまで以上に環境に配慮した施工体制が確立できます。

12.代表者による全体評価と今後に向けた取組

■全体評価

弊社がエコアクション21への取組をスタートしてから、2021年度で6年目に入りました。弊社社員をはじめとして多数の関係者の皆様の環境意識向上が顕著になってきているとともに、ホームページ等を通じた情報発信により、顧客や一般市民の皆様からの本取組へのご理解・ご協力もますます深まってきていることを実感しております。

ここ数年世界中に深刻な被害をもたらしている新型コロナウイルスの感染拡大は、現在も継続して弊社の事業活動に影響を及ぼしています。福岡県においても、緊急事態宣言やまん延防止重点措置等がたびたび発令されており、公私問わずあらゆる場面において感染症対策をふまえた「新しい生活様式」が要求されるようになっていきます。

このような社会的要請に対応していくために、弊社が今まで取組んできた環境活動の中で感染症対策を優先させるために活動を一時的に休止したものがあります。「公共交通機関の利用促進」「工事車両台数の最適化」「節水の励行」等の環境活動がそれに該当します。感染症対策のためには、社用車の優先利用や工事車両への同乗者数の制限、手洗い・洗浄の徹底等を優先することはやむをえないとの判断にもとづいています。コロナ収束が確認されるまでは、しばらく現状を維持する必要性があると考えております。

そのような状況においても、結果として2021年度は環境経営目標を達成することができました。感染症対策と環境活動との両立が、ある程度成功したものと考えております。

■今後に向けた取組

オミクロン株の感染急拡大に見られるように、新型コロナウイルスの脅威は依然として存在しており、収束にはまだ時間がかかるものと思われます。弊社としては、社員やその家族、顧客、協力業者等多くの関係者の皆様の健康と安全を守ることが最重要課題であると捉えています。

一方で、将来を見据えた環境活動のさらなる継続も求められています。2022年2月1日、北九州市より「北九州SDGs登録事業者」として認定いただきました。今後は従来の環境活動を継続・拡大させながら、SDGsの達成に寄与できる企業を目指していきたくと考えています。



※北九州SDGs登録制度

SDGsの達成に寄与する市内の企業・団体を登録し、その取組を「北九州市SDGs未来都市計画」と関連付けながら「見える化」することで、市内企業・団体のPR及びSDGsの普及・実践を図る制度。

2022年3月31日
株式会社水野文化園
代表取締役 水野 貞明